

小児用新型ドクターカー 概要



○ポイント1 搬送時の負担軽減を考慮した走行性能

走行時の振動低減により快適な搬送空間を実現します。

- ・エアサスペンションの装備により走行時の振動が軽減し、搬送中の身体的負担を緩和
- ・発電機の振動、熱の課題の改善による、安定した電力環境の確保

○ポイント2 医療処置の継続が可能な室内環境

コロナ禍の教訓を生かし、感染症のリスクを最小限に抑え、高度な治療を継続しながらの搬送を可能にする室内環境を実現します。

- ・陰圧構造
- ・ECMO (体外式膜型人工肺)を使用した高度治療の継続と搬送を可能にする特殊なストレッチャーや最新鋭医療機器の搭載

○ポイント3 「Teladoc HEALTH」を活用した情報連携によるスムーズな搬送体制

ウィーメックス株式会社が提供するリアルタイム遠隔医療システム「Teladoc HEALTH」の搭載により、搬送中の患児のバイタルサインや超音波画像を、走行中に病院とリアルタイムで共有することが可能です。情報共有の高度化は、救急医療の連携強化とともに、医療 DX 推進の一環でもあります。

- ・安定した通信品質と70倍相当ズーム可能な高精細映像技術 により、微細な所見も確認可能 (瞳孔の状態など微細な所見も遠隔地から確認・操作が可能)
- ・受入れ先で迅速かつ的確な準備・対応が可能

○ポイント4 患者の安心に配慮したデザイン

患者室の内装は、医療スタッフが協力して設計し、少しでも小児患者様に安心していただけるよう、落ち着いた空間づくりを目指しました。外装には、女子美術大学の学生によるイラストを採用し、小児患者様が少しでも気持ちを和らげられるよう配慮しています。